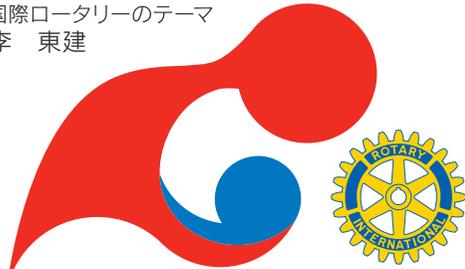


2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ
李 東建



Make Dreams Real
夢をかたちに

会長／齋藤清藏 幹事／遠藤光一

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2008▶2009 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

出席と参加、親睦と奉仕の 意識を高め地域に奉仕

プログラム

| | | |
|--------------------|-------------------------------------|--|
| ●本日 職場訪問・慶祝夜間例会 | 会員誕生日 4月26日 齋藤 清藏 5月10日 中川 勝美 | ご夫人誕生日 4月23日 佐藤とめ子 5月9日 佐藤 裕子 5月10日 行徳智歌子 |
| ●次週予定 －休会－ | 結婚記念日 4月26日 中出 敏彦 5月11日 松村 孝二 | |

No. 2370

第38回 4月22日

出席報告

前例会

会員総数……………43名
出免会員……………4名
出免出席……………1名
出席会員……………30名
出席率……………75.00%

前々会

第35回 3月25日
出席会員……………29名
メイクアップ……………5名
修正出席率……………78.05%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告 ……………

- 本日入会された佐々木会員は親睦活動委員会に所属し、サポート会員は高田会員にお願いします。一日も早くロータリークラブに同化され、クラブ活動を楽しんで下さい。
- 関野会員にロータリー財団管理委員会よりマルチプル・ポールハリス・フェローのピンバッジが届きましたので、お渡しします。

📝 幹事報告 ……………

- 1) 深川RCより創立50周年記念式典及びRI 2510地区第1グループIM開催の案内が届いております。開催日は5月17日(日)で13時点鐘です。なお当日第2回会長幹事会も開催され、その案内状もいただいております。

- 2) 白老RCより創立30周年記念式典の案内が届いております。開催日は6月20日です。
- 3) RI 2510地区渡邊ガバナリーエレクト事務所より次期会長幹事宛にCLPについてのお願ひ文が届いております。次年度にお渡し致します。
- 4) 深川RC、芦別RC、妹背牛RCより4月例会の案内を受領しました。
- 5) ロータリーの友4月号を受領、本日配布いたします。

ゲスト

旭通信社 元常務
バンダイ 元顧問 平井 健一様

ビジター

深瀬商事株式会社
代表取締役 深瀬 隆一様

委員会報告

親睦活動委員会 中川副委員長

次週例会は職場見学例会ですが、慶祝例会も兼ねた夜間例会となっております。当日の出し物は委員会対抗カラオケ大会となりますので、各委員会委員長さんよろしくお願ひします。

<新会員紹介>

佐々木 繁君

漁師の店 富丸 (留萌市開運町3丁目)

生年月日: 昭和22年6月13日

自宅: 増毛町畠中北町26番地

職業分類: 日本料理店

所属委員会: 親睦活動委員会

サポート会員: 高田 潔会員



3分間情報

会員研修委員会 平井副委員長

「ポリオ・プラス計画について」

1985年国際ロータリーでは、ロータリー創立80周年にあたって「ポリオ・プラス計画」を発表。プラスとは、はしか、破傷風、百日咳、ジフテリア、結核を指していますが、ポリオだけでなく、これらの病気についても、予防接種を実施することになりました。

1985年は、国連総会でユニセフの「予防接種普及事業」推進決議が、国連40周年記念事業となった年で、ロータリーもこの決議に賛同、署名しています。日本国内では募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンが始まりました。日本中のロータリアンが積極的に取り組みこのキャンペーンが展開されていた1986年7月から1991年6月までの5年間で、目標額をはる

かに超える約49億円の寄付を集めることが出来ました。

ロータリー100周年を迎える2005年2月までにポリオの撲滅を実現しようと、2002年に新たな「ポリオ撲滅キャンペーン」を展開しました。この時点で、ポリオは99%撲滅したと言われましたが、残り1%はアフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンなどで、紛争地帯やへき地などで困難な地域が多く、これまで以上に多くの資金を必要とします。

ロータリーがポリオの撲滅に乗り出して以来、ロータリアン達はもちろんお金を集めていただけではありません。多くのロータリアンが道路もないへき地に分け入り、紛争地域に赴き、実際にポリオワクチンを届けるための活動もしています。紛争地帯では、双方の代表を説得してポリオワクチン投与のために一時休戦にしたり、宗教上の理由からポリオワクチンの投与を拒む人々を説得したり、さまざまな活動をしてきました。

グローバル化した現代の事、ポリオとの闘いを終わらせない限り、日本にこの恐ろしい病気がまた入ってきてしまうかもしれないのです。

ニコニコBOX

- ・今年度初めての新会員で大変うれしいです
深川50周年・IM、羽幌30周年出席お願ひします
齋藤会長
- ・地区協議会出席ありがとうございました
対馬エレクト
- ・持ち帰れないほどの商品をいただきました
渡部会員
- ・卓話お世話になります
深瀬会員
- ・例会に出席出来て嬉しいです

国際ソロプチミスト留萌 村上様

北日本環境整備センター様

| | |
|----|----------|
| 前回 | 576,500円 |
| 今回 | 33,000円 |
| 累計 | 609,500円 |

プログラム……………

「恐慌」克服の牽引役「中国経済」

旭通信社 元常務

バンダイ 元顧問

平井 健一様

今年は「百年に一度の不況」の年と云われています。百年に一度の不況といえば「恐慌」ということになるが、学者も政治家もマスコミも恐慌という言葉は使わない。書籍や雑誌で時々使われる程度です。2月4日にイギリスのブラウン首相が不況と言うところを恐慌と言って、慌てて取り消す一幕もありました。恐慌を禁句にして社会がパニックに陥らないようにしているのでしょう。

ヒラリー・クリントン国務長官が外国訪問の最初の訪問国を日本としました。また、オバマ大統領がホワイトハウスに最初に招いた外国首脳が麻生首相でした。この「Japan first」は日本が大喜びただけで何の成果もありませんでした。ヒラリー長官は夫のビル・クリントンが大統領時代に一緒に中国を訪問した際、日本を素通りしました。「Japan passing」の張本人であり、日本には大きなショックだったことは記憶に新しいでしょう。今回はこれを逆手にとって最初に日本を訪問したというのが本音だと思います。オバマ大統領は麻生首相と会談した際、Prime Ministerとはいっても Mr. Asou とも Taro とも呼ばなかったのです。まして、会食もしないという異常さでした。ロン・ヤス関係などは遠い昔の話のように見えます。日本人は実質ではなく、面子を立てれば喜ぶ民族、という手法がミエミエです。

今年後半、オバマ大統領の訪中が決定しましたが、今回は「Japan passing」せず訪日するようです。訪中がメインなのは明確なのに政府筋は「Japan first」という面子にこだわっています。訪日して何をするのか？中身は関係ないのです。今回の恐慌はアメリカのサブプライム・ローンの破綻が引き金になって起きたのは周知の事実ですが、これと Prime Minister を振って SubPrime Minister (信頼度の低



い首相) なる新語がイギリスで囁かれています。日本の首相にも謹んでの称号を進呈したらいかがでしょうか。

今回の百年に一度と言われる恐慌を期に世界は大きく変わると言われています。アメリカの覇権、アメリカン・スタンダードが終わったといえます。先日終了したG20・金融サミットでオバマ大統領は、国際協調を訴えましたが「聞き役で指導力を発揮した」とも言っていました。まさに「20世紀は遠くになりけり」となりました。今アメリカではChimericaという言葉が急速に浮上しています。米中一体化、米中二ヶ国によるG2構想です。米国一国覇権ではないから「米中共同覇権」への転換ともいえます。GDP1位の米国と、3位の中国を合わせると世界経済の1/4、世界人口では1/4になります。米国と中国ではミスマッチだと思う方も多くいると思いますが、私はグッドマッチだと思います。なぜなら、米国は大手金融機関であるAIGやシティグループ、基幹産業である自動車の大手2社に公的資金を大量注入しました。即ち企業の国有化へ転換したのです。グリーンニューディールは国策で産業振興をすることです。即ち、「市場原理主義」から「資本主義計画経済」に変質しつつあると言えます。現に米国の雑誌にはsocialism(社会主義)という言葉が頻発していると聞いています。G20の開催中、ロンドンでの抗議デモで「資本主義は死んだ」と書いたプラカードを見つけて大変驚きました。中国は30年前から「社会主義市場経済」です。社会主義市場経済と資本主義計画経済がどこがどう違うか定かではありませんが、

第37回 4月15日(水) 天候/曇

近似していることは確かです。アメリカは資本主義計画経済だなどは口が裂けても言わないだろうが、実態はそうなりつつあるといえるでしょう。

今年、各国がマイナス成長に陥ると見られる時、中国は成長率が落ちて8%と言われていいます。言い方を変えれば、8%成長しなければ雇用が維持できず国が持たないのです。世界各国は中国の経済成長力をテコにして自国経済を再生しようとしています。中国政府も「保八」をスローガンにし、2年間で4兆元(58兆円)の景気刺激策を実施します。具体的に見ると…。

1. 中国は広い国土に高速鉄道網の整備を急いでいます。南北4線、東西4線なので、「四縦四横」と呼ばれています。2020年までの完成を目指し、投資総額は5兆元(68兆円)という巨額です。日本には世界に誇る新幹線技術があるが、小泉元首相の靖国参拝のトバッチリで排除されています。この機会に参入を果たし、経済復興の一助にしなければなりません。中国は1997年のアジア通貨危機の際に全国に高速道路の建設を進め、下支えをしたという実績があります。今回の高速鉄道の建設も恐慌克服に有効な施策の一つになることは、日本の新幹線建設の経験から容易に理解出来ます。
2. 農村部における内需拡大を計るため家電製品導入に13%の補助金をつけるという政策を打ち出しました。「家電下郷」です。内需拡大と農村の生活向上を狙った一石二鳥の政策です。三種の神器の中国版ですが、約1兆元(14兆円)の需要が見込まれています。そのため小売店のない農村に「農家店」を15万店新設します。農業機械の購入にも補助金を付け、農村近代化を促進します。また、「汽車(自動車)下郷」も実施されます。農業用の三輪車を廃止し、1300cc以下の小型車に切り替える場合、3月から購入額の10%を支給します。都市部でも1600cc以下の小型車の取得税を1月から5%に半減しました。この政策の効果はすでに出ており、今年1月~3月の車販売台数は中国がアメリカを抜いて世界1

位になっています。

3. 預金金利も、昨年10月以来3度も引き下げられ、4.37%が2.52%に下がったが、消費者物価の上昇率が4%で、-1.48%になるから、預金するより消費した方が得だというムードを作っています。その上5千億元の減税を行って内需を盛り上げています。

そうは言っても中国は低賃金だから消費能力は低い、とお考えの方も多いと思います。中国は夫婦共働きで、定年まで働きます。その上物価が安い。日本人のような「他人の目を憚る」消費ではなく、「他人の目を引く」消費、見せびらかす消費だからインパクトがあります。東京銀座には世界のブランドショップが集まっていますが、この恐慌で日本人客は激減し、メインは中国人だといえます。消費のリーダーはこの国でも若者であることに異存はありません。中国の一人っ子政策が発令されたのが1978年、80年以降生まれてきた一人っ子世代を「八〇后」といいます。日本でも子供を「子宝」といって大切にしますが、中国でも「宝宝」といって大切にします。一人っ子は6人の召使を従えた「小皇帝」と呼ばれており、わがままに育った一人っ子が18歳~28歳になり、2億人を超えました。現在は消費をリードする「月光族」と呼ばれています。月は月給、光は何も残らないこと、即ち月給を貯金しないで消費に使ってしまう人達なのです。親は現役であり、その親と同居だから生活費は親が負担しています。一人っ子は月光族でも親はせっせと預金します。家計貯蓄率は28.8%と高率なのは社会保障が未整備だからです。その月光族も適齢期を迎え始めました。男5女4というアンバランスな問題がありますが、大きなブライダル市場が期待されます。私の友人はマンションのプレゼントを計画しています。

(次号につづく)